



(2025年9月30日現在)

会社概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15番地 1
代表者	代表取締役会長 齋藤 高紀 代表取締役社長 菅野 孝太郎
資本金	500百万円
決算日	3月31日
従業員数	グループ: 511名 [外、臨時従業員27名] 単体: 34名
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

役員

代表取締役会長	齋藤 高紀	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 重光
代表取締役社長	菅野 孝太郎	取締役 (監査等委員)	鈴木 一徳
常務取締役	羽田 和徳	取締役 (監査等委員)	石山 純恵
取締役	熊坂 秀一		
取締役	伊藤 信弘		

株主メモ

上場市場	東京証券取引所スタンダード市場
上場日	2012年4月25日
証券コード	6060
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: <a href="https://cocolonet.jp/">https://cocolonet.jp/</a>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

# 株主の皆様へ

2026年3月期 第2四半期のご報告



こころネット株式会社  
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地 1  
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <https://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



代表取締役社長  
菅野 孝太郎

## 「グループ改革で、成長を加速」企業価値の最大化へ。



－ グループ理念 －

私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす  
サービスを提供いたします。

### Q1 当上期の経営環境と業績動向をお教えてください。

葬祭事業が利益面にて牽引し、増益を確保いたしました。

当上期における経営環境は、雇用や所得の改善に伴う緩やかな回復の期待が見られる一方で、米国の通商政策に起因する景気の下振れリスク、物価上昇による個人消費の低迷、金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業におきましては、葬祭・婚礼事業における小規模化・簡素化の傾向が定着し、石材事業においては少子化による「墓じまい」の需要増加や埋葬形態の多様化が進みました。

各事業では、こうした事業環境の変化に対応した営業活動を推し進めました。その結果、葬祭事業は増収及び営業増益となり、石材事業は減収ながらも営業増益、婚礼事業は売上微増を確保する中、営業損失の赤字幅を圧縮することができました。

特に、核となる葬祭事業においては、戦略的かつ積極的な取り組みを行っております。拠点戦略においては、中期経営計画に基づき、小規模葬専用会館の拡充を図りました。また、広告戦略においては、イメージキャラクターを各種広告媒体で横断的に起用し、集客と顧客の囲い込みを図りました。市場全体の死亡者数が減少

し、施行件数は減少したもののオプション販売は好調に推移し、葬儀施行単価は前年水準を維持することができました。

これらの結果、当上期の連結業績は、売上高が前年同期比1.5%減と減収となったものの、利益面では、出店費用増や賃金上昇の一方で、石材の輸入コスト減や生花相場安による仕入額の減少が奏功し、営業利益は同30.7%増、経常利益は同37.9%増となりました。

なお、特別損益では、燦ホールディングス株式会社との経営統合費用や中国事務所閉鎖に伴う損失を計上したものの、関係会社株式売却益を計上したことで、親会社株主に帰属する中間純利益は同138.1%増と増益となりました。

### Q2 通期の連結業績見通しをお教えてください。

現時点においては、期初に立てた業績予想を据え置いています。

当上期は、葬祭事業における死亡者数の減少や、石材事業における埋葬形態の多様化による影響を受け、売上高及び営業利益が期初予想を下回りました。しかし、通期の連結業績見通しにつきましては、今後の季節変動要因や、事業改善の進捗、不確定要素などを考慮し、現時点では期初予想を据え置いております。

通期の連結業績は、売上高が前年同期比3.8%増の10,500百万円、営業利益が同23.2%増の920百万円、経常利益が同26.1%増の960百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比76.0%増の660百万円を見込んでおります。

#### ■ 連結業績の推移 (単位:百万円)

	2025/3		2026/3	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(予想)
売上高	4,874	10,117	4,804	10,500
営業利益	268	746	351	920
経常利益	299	761	413	960
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	126	375	301	660

### Q3 中期経営計画の進捗状況はいかがですか。

「シナジーの極大化」に向け、葬祭事業を核とした新規会館の出店を進めております。

少子高齢化や価値観の多様化など社会の大きなうねりの中で、冠婚葬祭に対する消費者の支出のあり方が様変わりしております。こうした時代の変化に中長期的な視点から対応していくべく、「グループ改革で、成長を加速」を基本方針とする「第5次中期経営計画」(2026年3月期～2028年3月期)をスタートし、次の3つの重点施策に取り組んでおります。

グループの  
抜本改革

シナジーの  
極大化

ステークホルダー  
との関係強化

「グループの抜本改革」では、厳しい事業環境の中でも確かな成長の実現と収益の確保を図っていくためのグループ再編や組織、業務の改革に向け、積極的な検討を進めております。

「シナジーの極大化」は、収益の核である葬祭事業へ成長投資を集中的に行い、事業シナジーを高める施策です。当上期は、小規模化トレンドに対応し、家族葬専用会館の開設に積極投資し、2施設の開設と4施設の開設準備を行い、3県でのドミナント出店\*を推進しました(詳細はP4参照)。

「ステークホルダーとの関係強化」では、コロナ禍により中止していた株主総会後の株主懇親会を再開し、株主の皆様との対話機会を設けました。

引き続き、重点施策を着実に推し進め、企業価値の最大化を図ってまいります。

\* 「ドミナント出店」:一定のエリアにおいて集中的な出店を行うことで、当該エリアでの知名度・競争力・占有率等を高める戦略

### Q4 経営統合について株主の皆様へメッセージをお願いします。

経営統合効果を最大限に発揮し、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

この度、当社は燦ホールディングス株式会社との間で株式交換による経営統合を行うこととなりました。今回の統合は、激しい経営環境の変化に対応するため、両社の強みを結集し、事業競争力を強化して持続的な成長基盤を築く最良の選択と判断いたしました。

この統合により、両社が本格的に協業することで、出店地域の相互補完、葬儀事業の拡大、事業運営の効率化といったシナジーを最大限に創出します。より機動的かつ効率的な連携を実現し、成長を加速させてまいります。

株主の皆様には、引き続き、変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

TOPICS 1

## 協業によるシナジー創出に向けて、 燦ホールディングス株式会社との 経営統合を決議。

2025年10月23日に当社は燦ホールディングス株式会社と株式交換による経営統合を行うことを決議いたしました。

株主総会での承認を前提に、2026年2月1日に本株式交換の効力が発生し、当社グループは燦ホールディングス株式会社の完全子会社となる予定です。

なお、本株式交換の効力発生日(2026年2月1日予定)に先立ち、当社の普通株式は、東京証券取引所スタンダード市場において、2026年1月29日付で上場廃止(最終売買日は2026年1月28日)となる予定です。



### ■ 経営統合の目的

#### 1 企業理念の高い親和性

両社とも「上場企業として投資家の期待に応える利益成長」と「葬祭事業に本来求められるべき社会福祉の側面からの質の高いサービス追求」の両面を目指しており、企業理念の親和性が高い。

##### 燦ホールディングスパークス

シニア世代とご家族の人生によりそい、ささえるライフエンディングパートナー

##### 当社グループ理念

私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらすサービスを提供する

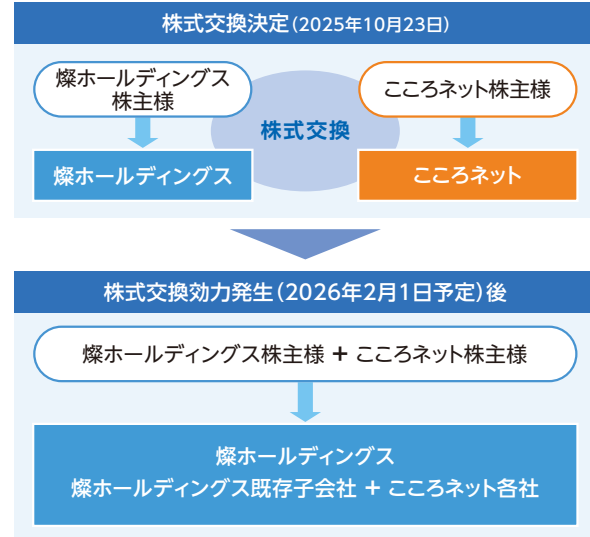
#### 2 シナジーの創出

両社が協業することで、出店地域の相互補完だけでなく、葬祭及び周辺事業における新たなシナジーを創出する。

#### 3 業界を牽引する企業グループへ

業界でもトップクラスの企業グループとなり、日本全国の多くのお客様へ高品質のサービスを提供することで、業界を牽引していく。

### ■ 株式交換スキームの概要



TOPICS 2

## 葬儀の小規模化・簡素化に対応し、 家族葬専用葬祭会館の拡充が着実に進捗。

当社グループは「第5次中期経営計画」の重点施策である「シナジーの極大化」として、葬祭事業を核とした事業展開を推進しております。当上期においては、家族葬専用会館6施設(開設2施設、開設準備4施設)を展開し、ドミナント出店を押し進めてまいりました。



#### 福島県

【とわノイエ 大森】  
【こころ齋苑 三春 さくらホール】  
特徴は次の通りです。

##### 【上記2施設の主な共通の特徴】

- 安置室(お別れ室)完備
- 浴室完備の遺族控室(宿泊可能)
- 宗旨宗派問わず

【とわノイエ 泉】  
【とわノイエ 飯坂】  
特徴は次の通りです。

##### 【上記2施設の主な共通の特徴】

- 浴室完備の遺族控室(宿泊可能)
- 宗旨宗派問わず

#### 福島市 とわノイエ 大森



▶ 2025年6月開業



#### 田村郡三春町 こころ齋苑 三春 さくらホール



▶ 開設準備中



※外観および内装はイメージ

#### 福島市 とわノイエ 泉



▶ 2025年9月開業



#### 福島市 とわノイエ 飯坂



▶ 開設準備中



※外観および内装はイメージ

#### 栃木県

#### 宇都宮市 とわノイエ 西川田

##### 【主な特徴】

- 安置室(お別れ室)完備
- セレモニーホールからの続き間のリビング
- シャワー室完備の遺族控室(宿泊可能)
- 宗旨宗派問わず



▶ 開設準備中



※外観および内装はイメージ

#### 山梨県

#### 甲府市 家族葬のセレオ 甲府貢川

##### 【主な特徴】

- 安置室(お別れ室)完備  
※3組同時安置可能
- 浴室完備の遺族控室(宿泊可能)
- 宗旨宗派問わず



▶ 開設準備中



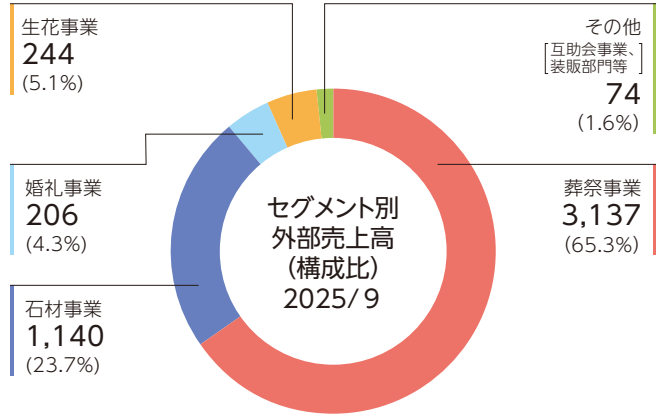
※外観および内装はイメージ

決算・業績ハイライト

(単位:百万円)

	2024/9	2025/9	増減率
売上高	4,874	4,804	△1.5%
営業利益	268	351	30.7%
経常利益	299	413	37.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	126	301	138.1%
	2025/3	2025/9	増減率
総資産	19,199	19,396	1.0%
純資産	8,589	8,857	3.1%
自己資本比率	44.7%	45.7%	1.0pt

セグメント別外部売上高(構成比)



※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示しております。

決算のポイント

売上高の状況

葬祭事業は増収を確保したものの、その他各事業が減収となった結果、売上高は前年同期比1.5%減少となりました。

損益の状況

収益面では、葬祭会館の出店に伴う経費増や賃金ベースアップ、広告宣伝費の増加等があったものの、石材の輸入コストの減少や生花の相場安の影響による仕入高の大幅な減少等で経費が抑制されました。その結果、営業利益は前年同期比30.7%増、経常利益は同37.9%増となりました。なお、特別損失として燦ホールディングス㈱との経営統合に関する株式関連費用や中国事務所閉鎖に伴う事業構造改善引当金繰入額を計上した一方、特別利益として持分法適用関連会社の株式売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は同138.1%増と増益となりました。

セグメント別の概況

**葬祭事業**：死亡者数減少と小規模化が進む中、小規模専用会館の開設を進め、ブランド認知度向上と顧客囲い込みを強化しました。また、受注シェアの維持とオプション販売の好調により、売上高・営業利益ともに増収増益となりました。

**石材事業**：埋葬形態の多様化により、永代供養や樹木葬、墓地移転や墓じまいなどが増加する一方、一般墓石の販売数の減少により、売上高は減少したものの、輸入仕入れコストの減少により営業利益は増益となりました。

**婚礼事業**：婚礼施行件数の減少と小規模化が続く中、2施設での運営体制の適正化と見直しによる経費圧縮に努めました。その結果、売上高は微増を確保し、営業損失の赤字幅は、圧縮いたしました。

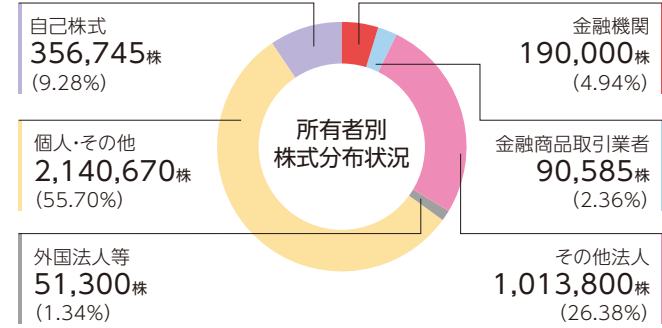
**生花事業**：葬儀の小規模化で生花需要が減少する中、商品差別化と経費圧縮に注力しました。花材の相場安と経費削減が寄与し、売上高は減少したものの、営業利益は増益となりました。

**その他**：互助会事業は、新規会員の募集や葬儀施行後の再加入を積極的に進めました。装版部門は、「悠舟」などのオリジナル商品の販売促進を図りましたが、卸売先の施行件数減の影響を受け、棺の卸売数量が減少し、結果として減収となりましたが、利益面では増益(黒字)を達成しました。

株式の状況

発行する株式の総数	5,100,000株
発行済株式の総数	3,843,100株
株主数	917名

所有者別株式分布状況



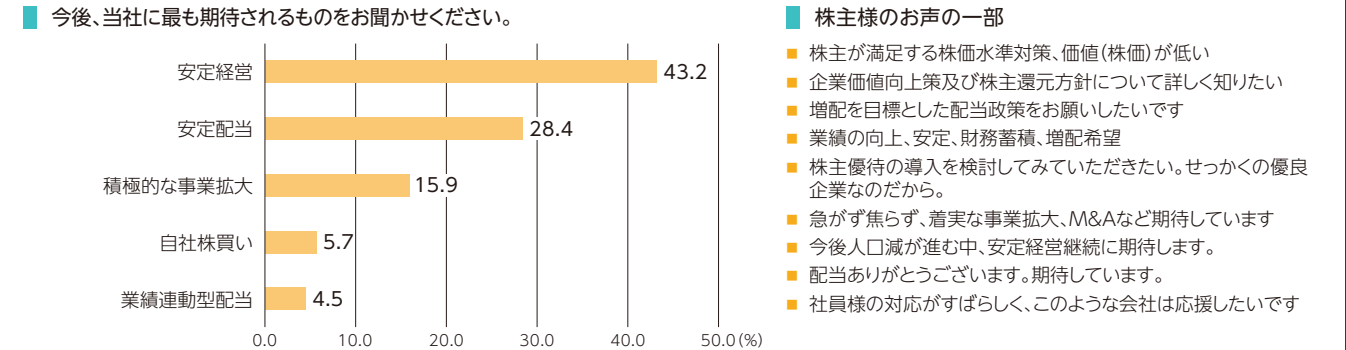
大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	920,000	26.39
齋藤 高紀	433,400	12.43
川島 利介	182,475	5.23
こころネットグループ従業員持株会	178,340	5.12
内藤 征吾	115,100	3.30
水元 公仁	103,900	2.98
菅野 孝太郎	91,440	2.62
株式会社東邦銀行	75,000	2.15
野村證券株式会社	65,300	1.87
福島信用金庫	50,000	1.43

※カンノ合同会社は、当社代表取締役社長菅野孝太郎及びその親族の保有資産の管理を行う会社です。  
※持株比率は自己株式(356,745株)を控除して計算しております。

前回の株主様アンケートのご報告(2025年3月期 第2四半期)

「株主の皆様へ(2025年3月期 第2四半期号)」において、株主様アンケートを実施させていただいた結果、87名の株主様よりご回答をいただきました。(回答率9.6%)



- 株主様のお声の一部
- 株主が満足する株価水準対策、価値(株価)が低い
  - 企業価値向上策及び株主還元方針について詳しく知りたい
  - 増配を目標とした配当政策をお願いしたいです
  - 業績の向上、安定、財務蓄積、増配希望
  - 株主優待の導入を検討してみていただきたい。せっかくの優良企業なのだから。
  - 急がず焦らず、着実な事業拡大、M&Aなど期待しています
  - 今後人口減が進む中、安定経営継続に期待します。
  - 配当ありがとうございます。期待しています。
  - 社員様の対応がすばらしく、このような会社は応援したいです

アンケートのご協力ありがとうございました。皆様の貴重なご意見を参考とさせていただきます、今後の経営に役立ててまいります。